

平成31年度 学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立白井第一小学校 |
|--|-------------|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>(1) 授業をとおして</p> <ul style="list-style-type: none">○算数科を中心にペアやグループで話し合いの活動を充実させる。そのために、話の聞き方や考えの話し方などについて共通理解し、学習の姿勢がきちんと身につくようにさせる。千葉県標準学力検査の結果から、数学的な考え方の領域について県平均と比べて大きく落ち込んでいる部分である。そこで、対話的な学びの場を意図的に仕組んでいくことで思考力の向上を目指したい。○自ら学んだことを次の学習につなげるために、学習をまとめたり振り返ったりする活動も大事にしていきたい。そのために、ノートの取り方について工夫していく。○学習活動の中に PDCA サイクルを意識した指導を心掛ける。学習の流れの中にこのサイクルをきちんと組み込むことによって、学習をきちんと身につけることができ、意欲の高まりにつながると考える。○研究授業以外にも教員相互の授業参観を実施するなど、教師の授業力を伸ばしていく。 <p>(2) 家庭学習をとおして</p> <ul style="list-style-type: none">○年度初めの保護者会で「家庭学習の取り組み方」を説明し、学習の習慣化を図る。保護者に協力を求めることにより、学校と家庭が一丸となって児童の資質や能力を高めようとするのであろう。○課題はきちんと毎日評価をすることで、児童が意欲的に学習に取り組むことができるようにする。個人に合わせて課題を設定することも視野に入れ、毎日継続的に取り組むことができるようにする。○音読カードで毎日文章の音読に親しむようにさせる。読書の習慣化についても毎日の積み重ねを大切にする。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none">○学力に個人差があるので、市職の先生の力を借りながら個別の対応をしていく。 | |

平成31年度 学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立白井第二小学校 |
|--|-------------|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>○学年や教科に関わらず、児童が主体的に学習できるよう「対話的な学び」を積極的に取り入れる授業展開の工夫を図る。学年の発達段階や学級の実態に合わせてペア学習、グループ学習など柔軟に切り替えていく。児童が学習を「楽しい」と思えるような授業展開を心がけ、学習意欲の向上を目指す。</p> <p>○対話的な学びを通して、自分の考えとの共通点や相違点を見つける力を養っていきたい。また、話し合いが一方通行になるのではなく、友達の考えをしっかりと聞くことで聞く力を養い、自分の考えを表現することで説明する力も併せて養っていきたい。そのために、低学年から自分の考えを図に表したり、操作活動や代理説明などを重ねたりし、聞く力、表現できる力の素地を築いていく。</p> <p>2 その他</p> <p>○基礎学力の定着を図る（学習習慣・学習規律の確立）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成30年度の県標準学力検査の結果から、「要点を捉える」ことに重点をおいて、学習を進めていく。そのために、国語科の学習では、読書量の増加（読書活動推進補助教員との連携）を図っていく。算数科の学習では、適用問題の時間の確保、類似問題を重ね、多面的に事柄を捉える力を育てていく。・本時の学習では、既習事項を自ら振り返り、学習の見通しをもてるようにさせていく。・学年の発達段階に応じた家庭学習の実施（達成感や充実感を味わわせることを目指す）・「話す・聞く」の力の育成 (各教科での発表や行事での役割などを適切な話し方の機会と捉え、「話すこと」の指導の日常化を図る。また、「聞くこと」の力を伸ばすために、発表者の方へ体を向けるなど聞く姿勢の徹底を図る。) <p>○ 思考力・判断力・表現力の育成</p> <ul style="list-style-type: none">・総合的な時間や生活科の学習で、福祉教育、環境教育、国際理解教育、食育、キャリア教育等の領域を取り上げ、地域の教育資源（素材や人材）を活用した体験的な学習を推進する。 <p>○ 研修の充実による、教職員の資質・指導力向上</p> <ul style="list-style-type: none">・若年層教員の授業研修の推進とミドルリーダーの育成 (相互授業参観を実施し、若年層教員の指導力向上を図る。)・市夏季研修や他校の公開研究会等への積極的な参加・校長、教頭による授業観察と指導の充実 | |

平成31年度 学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立白井第三小学校 |
|---|-------------|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>(1) 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none">○表現力・思考力の向上<ul style="list-style-type: none">・図書資料やICTを活用して調べたり，話し合いを通して情報を収集したりする力を高める。・収集した情報を，発信する目的や相手，自分の考えに応じて，整理する力を育てる。・整理した情報を，工夫して（ポスターセッション，ペープサート，ICT活用等）発表する力を育てる。○学び合いの場の設定（思考力の向上）<p>児童が自分の考えを持ち，お互いの考えを出し合い，自分の考えを確かめたり，深めたりできる学習集団を作る。</p> <p>(2) 家庭学習を通して（基礎学力の定着）</p> <ul style="list-style-type: none">○内容と量を精選して，宿題を確実にやりとげられるように調整する。○継続的な音読・計算練習カードや日記活動を行い，保護者確認サイン等，保護者に協力をしていただき，家庭学習の定着を図る。○出題範囲を予告して行うテスト（「月例テスト」下記参照）を実施することで，目的意識をもって家庭学習に取り組ませる。また，学年だよりで誤答の傾向等を知らせたり，月例テストファイルでテスト結果を知らせたりすることで，保護者の関心を高める。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none">○読書指導の充実<p>朝の読書タイムを毎日8：05～8：15の日課に位置づける。読書に親しませ，活字に馴染ませ生涯学習の礎を図ると共に読解力の向上を図る。また，落ち着いた中で1日のスタートを切らせ学習に取り組ませる。</p>○基礎学力の定着<ul style="list-style-type: none">・ドリルタイム（サンサンタイム）の取り組み～<p>毎日8：15～8：25の日課に位置づけ基礎基本の定着を図る。</p>・月例テスト（漢字・計算）の実施<p>出題範囲を児童に予告し，毎月定期的に習熟度を確認するテストを実施する。テストの結果を通して児童への賞賛をしたり，理解不十分な点を確認したりして学習意欲の向上を図る。</p> <p>※平成30年度全国学力・学習状況調査や千葉県標準学力検査の結果から，基礎学力の定着及び思考力の向上が課題である。</p> | |

平成31年度 学力向上のための取り組み

| | |
|--|------------|
| 学 校 名 | 白井市立大山口小学校 |
| 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて | |
| (1) 全国学力・学習状況調査の結果から | |
| <p>主語と述語の関係に注意して文を正しく書く設問や記述式の設問に誤答が目立った。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none">・日記や短作文など，日常的に「書く」取り組みを取り入れる。・各教科の問題解決の場面において，ペア学習やグループ学習を取り入れ，説明し合ったり書いてまとめたりする機会を意図的に設定する。 | |
| <p>全体を通して，無回答の割合が非常に低かった。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none">・根気よく取り組み，自分なりの回答や考えをもつよう指導を続ける。 | |
| (2) ちばっ子「学力向上」総合プラン（ファイブ・アクション）から | |
| <p>「読書・体験学習」チャレンジプランを受けて</p> | |
| <ul style="list-style-type: none">・全クラスに週1時間，学校図書館の優先利用日を設定し，図書館活用を促す。・年2回，図書委員会の主催による「読書まつり」を開催する。本に関するクイズや，担任以外の教員と委員会児童による出張読み聞かせを行い，本に親しむ機会を増やす。・読書活動推進補助教員と連携し，単元導入の読み聞かせや並行読書の本選びなどに積極的に関わってもらおう。・全学年，毎日の宿題で音読に取り組ませることで，様々な日本語の表現を深く味わう。 | |
| <p>「授業力アップ」プランを受けて</p> | |
| <ul style="list-style-type: none">・若年層教員の研修会において，授業の相互参観や教科主任の授業参観の機会を設ける。 | |
| (3) 白井「なしビジョン」から | |
| <ul style="list-style-type: none">・構造的で見やすい板書を心がける。・学習課題を青，まとめを赤で囲み，児童にわかりやすくする。 | |

平成31年度 学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立清水口小学校 |
|---|------------|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>(1) 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none">・児童の学習に対する関心・意欲・態度を高められる授業の導入を考えていく。特に算数科で研究を行い、教職員の指導力向上を図り、成果と課題から改善を図っていく。・話し合いの基本となる話型が使えるように、日々の学習の中で習得できるようにする。・ペア・グループ学習を充実させるために、まずはペア学習から多く取り入れるようにする。自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりするだけでなく、お互いの良い所を見つけたり、足りない所を補ったりし、考えを深められるようにする。・漢字の学習は、はねやはらい、止めや画の長さなど細かい所まで厳しく確認し、繰り返し練習させることで定着させていく。・特に算数科では、間違えた問題をもう一度考えさせ練習し、知識の定着を図る。・読む力を付けるために、読書の時間の確保と質を向上させる教育課程を考えていく。・課題に最後まで取り組まない児童に対して、根気強く指導していく。・各学級に図書室優先利用日を設定し、読書活動推進補助教員との連携を取りやすい体制を整え、読書活動の充実を図る。・管理職や主幹教諭による授業巡回を通して、授業改善のための指導助言を行う。・「ちばっこチャレンジ100」「学びの突破口ガイド」の利用を啓発し、活用していく。 <p>(2) 家庭学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none">・音読カードを利用し、音読練習を家庭学習に取り入れ、思い込みで読むことのないように習慣づける。・計算の学習を家庭学習として習慣づけることで、基本的な計算技能を身につける。 <p>2 その他</p> <p>3～6年生においては、火水木曜日の朝の15分間、国語と算数の短時間で学習できる内容に絞り、モジュール学習を取り入れている。また、効果的な学習を組み立てられるように、朝のモジュール学習と1時間目が連続するよう日課表を組み立てている。なお、月曜日は読書の時間、金曜日はドリルの時間として扱っている。1・2年生においては、月火水曜日の朝の15分を読書の時間、木金曜日をドリル学習の時間として扱っている。</p> | |

平成31年度 学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立南山小学校 |
|--|-----------|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>(1) 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none">・「分かった」「できた」が感じられるための思考ツールとして、様々なグループでの話し合いを設け、日々の学習を充実させる。・話の聞き方や発表の仕方、ノートを使い方等、学習規律を指導する。・研究教科の算数科を中心として、学習の流れや板書の仕方等ユニバーサルデザインを意識し、学年が変わっても同じ進め方で学習できるようにする。・算数科の学習では、見通しと比較検討の場で話し合い活動を取り入れ、深い学びにつなげられる指導を高めていく。・学力差を取り除くためにも、少人数指導、補助教員の活用を充実させる。 <p>(2) 家庭学習を通して</p> <p>①学校・家庭との連携を強化する</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者に啓発するために、保護者会や学校便り・ホームページを通して、「家庭学習のすすめ」(家庭学習時間や取り組み方)についての共通理解文書を提示する。・継続的な音読や漢字・計算練習を行うために、確認サイン等を行ってもらい、教師と保護者が相互に児童の学力定着を図れるようにする。・保護者会や個別面談等で、家庭学習のようすを確認するとともに、実態に合った家庭学習をサポートしていく。 <p>②読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・音読カードを活用し、家庭学習として毎日継続して行う。その際、保護者が判断しやすい観点を設定する。(よい姿勢で、はっきりと、ゆっくり、気持ちを込めて など)・月1回、児童が保護者に読み聞かせを行い、読むことへの意識・学習意欲の向上を高めさせる。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・朝自習のドリルタイムの充実を行う。モジュール学習や読み聞かせなどの予定が入っていない朝学習の時間は、学年で相談して計算、漢字の学習などを実施する。・月に1回、漢字・計算のテストを行い、学力の定着・確認・改善を行う。・ちばっこチャレンジ100・学びの突破口ガイドを学年ごとにファイルし、すぐに家庭学習等で活用できるよう、各学年で保管する。・学年末に各教科の復習プリント等を取り組ませる。学力テスト等の分析ツールを活用し、学びを支える取り組みをサポートする。また、ちばっこチャレンジ100・学びの突破口ガイドの活用も併せて行う。 | |

平成31年度 学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立七次台小学校 |
|---|------------|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>(1) 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none">・年3回の研究授業と事前事後の研修を中心に、職員研修に力を入れる。・2～4人の小グループでの話し合いの場を意図的にたくさん設定してお互いに認めるよさと認められるよさを実感させる。・授業の目標を明確にして、児童ができたことで自信を深め、更なる学習意欲の向上を促す。 <p>(2) 家庭学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none">・宿題の他に音読することを、今年も全学年で実践する。・自学を効率的に進められる工夫を考える。・宿題・音読・自学が滞る児童が学級に数人いるので、家庭教育の重要性を理解してもらい、保護者の協力体制を更に強化する。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・毎月1回、計算大会と漢字大会を行い、基礎学力の定着を図る。・教材備品や学習環境を整備し、指導の効率化を図る。・集中力が持続しない児童が多いので、集中力が持続する学習形態を工夫する。・文章問題をたくさん解き、題意を読み取る練習を重ねる。・成績上位の児童と下位の児童との差が激しいので、少人数指導などで底上げを図る。・体験学習をたくさん設定し、児童の関心・意欲を高める。・研究授業を中心に、若手教員の育成の場を可能な限りたくさん設定する。・音読を国語だけでなく、算数を始め他教科でも積極的に取り入れる。・グループでの活動を中心に、児童同士の教え合いの場を多く設定する。・「学びの突破口ガイド」と「ちばっ子チャレンジ100」を活用する。・保護者の読書ボランティアや司書教諭と連携して読書活動の充実を図る。 | |

平成31年度 学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立池の上小学校 |
|--|------------|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>(1) 授業を通して</p> <p>①学習規律を身につけさせる。(姿勢・持ち物・聞き方・話し方・ノートの書き方など)</p> <p>②授業の導入，単元の導入の指導の工夫をする。(学ぶことに興味や関心ををもたせる)</p> <p>③見通しを持って取り組むことができるよう，指導の工夫をする。(学習のめあて，課題などの出させ方や提示の仕方を工夫し，一人ひとりの子どもが確実に把握できるようにする。)</p> <p>④自分の考えをノートやワークに書き，整理させてから話し合い（ペア・班・学級全体）を進め，自己の考えを深めさせる。(内容の質や捉え方，教師の関わり方，論点がずれないように対応を工夫する。)</p> <p>⑤学習の振り返りの時間を確保し，次につなげる。(学習過程の中途や週末で振り返りを行い，学習の方向性を確認，学習の価値・意義の自覚，今後の学習へのつながりや関連を持たせる。)</p> <p>⑥千葉県標準学力検査において，国語科では，「読むこと」において，若干県平均点を下回った。気持ちを自由に想像させていくことを多く取り入れていったが，書く内容においてもっと絞った内容の書かせ方をさせていく。算数科では，少人数指導の成果もあり，県平均点を上回っており継続していく。</p> <p>(2) 家庭学習を通して</p> <p>①自主学習の奨励～自主学習の意義・進め方・取り組み例を載せたプリント配布や，ちばっ子チャレンジ100の活用。</p> <p>②保護者の協力の下，家庭学習の習慣化～特に中学年時に「家庭学習のすすめ」サイトの周知。</p> <p>③自分の学習理解度を自己判断し，自ら考えて課題を見つけて家庭学習に取り組むことができるような態度を身につける。(メタ認知)</p> <p>2 その他 (基礎学力の定着のために)</p> <p>(1) 朝のチャレンジタイムの実施～毎週月・水・金の週3回15分間(教師が必ずつく。授業時数には必要に応じてカウントする。)</p> <p>(2) 読書活動の推進</p> <p>①朝の読書タイム～毎週火・木の週2回15分間(授業時数にカウントせず。)</p> <p>②朝読書の実施…落ち着いた静かな環境で教師も一緒に行う。</p> <p>③保護者ボランティアサークル「おはなしトランク」による読み聞かせ(月1回)</p> <p>④読書活動推進補助教員による図書室環境の整備</p> <p>(3) 「学年のめあて」の選定 ～年間通して継続的に指導する内容を精選</p> <p style="padding-left: 40px;">例 4年 都道府県名と場所を覚える</p> <p>(4) 算数少人数指導の充実</p> <p>①4年生以上で，少人数指導を行う。児童の実態に応じて学級を2つに分け，授業を行う。</p> <p>②ただ単に多様な考え方・解き方を導き出すだけでなく，どういう状況の時にどの考え方・解き方がより有用となるのか，比較検討の場をもつ。</p> <p>③学習の苦手な児童に対する個別指導や，得意な児童に対する補充プリント等の作成し，全体的な学力向上に取り組む。</p> | |

平成31年度学力向上のための取り組み

| 学 校 名 | 白井市立桜台小学校 | |
|--|-----------|--|
| <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</p> <p>○校内研修での取り組み</p> <p>研究主題 <table border="1" data-bbox="328 365 1286 483"><tr><td data-bbox="328 365 1286 483">読む楽しさを感じ、主体的に学習活動に取り組む児童の育成 ～自分の考えを明確にしながら読む力を育てる指導の工夫を通して～</td></tr></table></p> <ul style="list-style-type: none">・自分の考えの根拠・理由を明確にする指導の工夫を行い、読む力を育てる。・児童の実態に合わせた言語活動を工夫し、見通しをもって主体的に学べるようにする。・ペアでの対話・グループでの対話を取り入れ、自分と他者の意見を比較したり、自分だけでは気づくことが難しい気づきを得たりしながら、考えを広げたり深めたりできるようにする。 <p>○各学年の実態に応じた内容の家庭学習課題を毎日出す。5・6学年は、自学による家庭学習を奨励する。漢字や計算だけではなく、発展学習、読書、日記等にも取り組ませる。</p> <p>○スペシャルスタディー（小中学校職員・保護者による夏休み公開講座）を実施し、教科の枠を超えた豊かな学習経験を通して、学習に対する意欲や関心を高める。</p> <p>2 その他</p> <p>○平成31年度ちばっ子「学力向上」総合プラン（ファイブ・アクション）の取り組み ＜興味ワクワク「読書・体験学習」チャレンジプラン＞</p> <ul style="list-style-type: none">・朝読書で、より多くの本に親しめる時間を確保し、読書通帳（記録カード）を活用して自分の読書の振り返りをして、さらに意欲をもって本を読むことができるようにする。・図書委員会の活動「多読賞表彰」「図書祭～スタンプラリー、キャラクター投票～」など・図書ボランティアの方による読み聞かせや語り。白井市図書館の貸し出しの利用。 <p>＜「評価・改善」アクティブプラン＞</p> <p>昨年度の学力検査の結果では、昨年の県学力検査では、国語、算数共に県平均点を超えたのは6年生のみであった。それを踏まえて本年度から研究を国語科とし、全ての教科の基礎である国語の学力向上、個に応じた指導の充実を研修していく。そして自分の考えを持ち、表現する力、話し合いを通して深めていく力を高めていきたい。</p> <p>○桜台中学校と共同で取り組んでいる「9年間の約束」を全クラスに掲示し、学習中の約束として守れるよう指導している。</p> <p>○基礎学力の定着</p> <p>毎朝、読書タイムとスキルタイムを実施する。登校後、静かに読書をすることで落ち着いて学習に臨む状態をつくる。続いてスキルタイムを行い、国語、算数を中心に児童の実態に応じて既習事項の反復練習や発展学習、ちばっ子チャレンジ100等を行う。</p> | | 読む楽しさを感じ、主体的に学習活動に取り組む児童の育成 ～自分の考えを明確にしながら読む力を育てる指導の工夫を通して～ |
| 読む楽しさを感じ、主体的に学習活動に取り組む児童の育成 ～自分の考えを明確にしながら読む力を育てる指導の工夫を通して～ | | |